



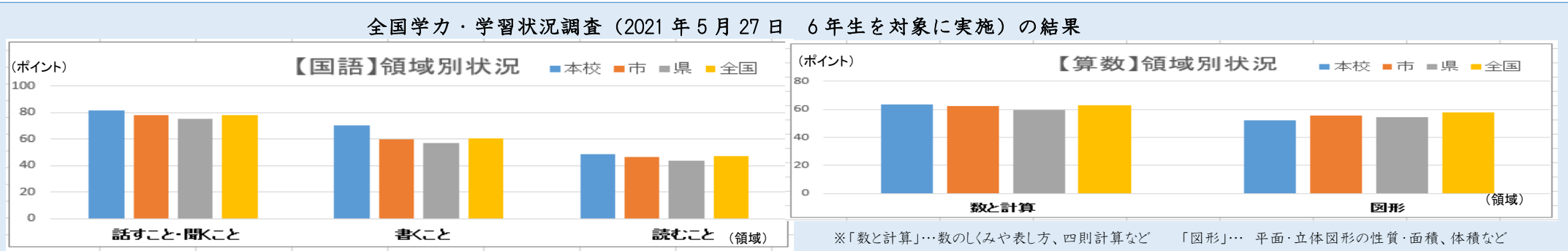
**【坂本の学区】**  
 坂本は大津市の北部に位置し、比叡山麓の一角の美しい琵琶湖が見える丘陵地にある。また、坂本学区は古くからの文化財、旧跡も多く、石積みの町としても有名である。四季それぞれに趣があり、訪れる観光客も多い。令和3年3月、坂本小学校は開校147年目を迎えた。児童数487名（令和3年10月1日現在）

**【学校教育目標】** 心豊かに たくましく

- 1 自他を敬愛し、夢に向かって粘り強く努力する子どもを育てる
- 2 生命を尊び、進んで身体を鍛える子どもを育てる
- 3 基礎基本を身につけ、よく考える子どもを育てる
- 4 ルールを守り、共に伸びようとする子どもを育てる

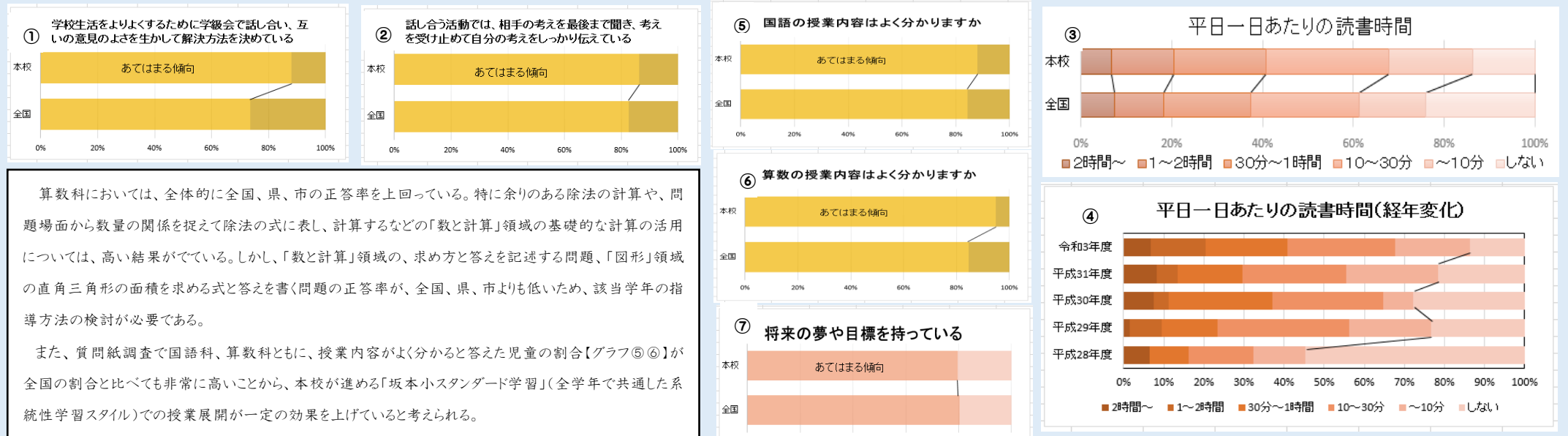
**【本校の目指す教育】**

- 今年度の重点
  - 一人ひとりの可能性を伸ばす学校教育の推進
- おもな具体的取組
  - 個に応じた学びを伸ばす仕組みづくり
    - ・学びの定着を図り、可能性を伸ばす一人一台端末の指導
  - 坂小のスタンダード授業づくりの達成
    - ・全学年で共通した系統的学習スタイルの確立
  - 学びの基礎となる協働的課題解決能力を育て、読み解く力を高める道徳科、特別活動の充実（非認知スキル育成）
    - ・学校全体で取り組み、積み上げる学級活動（学級会）の実践
  - 命を守る安全教育と体力向上
    - ・体力の実態に基づいた授業の工夫
    - ・命を守る安全教育の推進
  - 自己有用感のある学級・学年・学校
    - ・いじめを無くす人権感覚の向上
    - ・5つの心得（挨拶、はきもの、そうじ、時間、人）の徹底
  - 地域（社会）に開かれた教育
    - ・コミュニティースクールと学校ボランティアの充実



**【学力調査の結果から見えてくる本校の現状】**

国語科においては、「話すこと、聞くこと」、「書くこと」、「読むこと」の各領域で全国、県、市の正答率を上回った。「話すこと、聞くこと」の領域で高い正答率が見られた要因として、学級活動（学級会）で、学びの基盤となる話し合う力の向上と子どもたち同士が意見を交わし、課題を解決する協働的課題解決能力の育成に取り組んできた成果と考えられる。児童質問紙【グラフ①②】でも分かるように、子どもたちの中に相手の話をしっかり聞いて、自分の考えを伝えながらクラスの問題を解決していくとする意識の高まりが、国語科などの教科学習にも生かされている。「書くこと」の領域では、目的や意図に応じて、自分の考えが伝わるように書き表し方を工夫する問題では非常に高い正答率が見られた。本校が授業づくりにおいて、「自分の考えを書いて表現する活動」を大切にしてきた成果と考える。また、「読むこと」については、読書量についての質問紙調査【グラフ③】と、本校の過去の調査結果を比較した経年変化【グラフ④】から、年を追うごとに伸びてきていることが分かり、今回の結果に結びついているのではないかと考えられる。また、本校で昨年度から取り組んでいる「読み優先の漢字学習」も読書量が増えた要因としてあげられる。漢字の書き取り問題の正答率が高かっただけでなく、漢字が多く使われている文章でも抵抗なく読むことができるようになっている。今後もさらに、考え方の引き出しを増やし、読み解く力の基礎となる読書活動を充実させていくと共に、子どもたちが主体的に取り組むことができる漢字学習を進めていきたい。



**【質問紙調査から見えてくる本校の特徴】**

自分の将来に夢や目標を持っており、他者にも優しく接しようという思いを持っている児童が多いことから、自尊感情や自己肯定感の高さがうかがえる【グラフ⑦⑧】。このことを生かし、さらに主体的に学んだり、生活をより良くしたりしていくとする態度を育てていきたい。また、全国平均に比べ、家庭学習の時間が短く、計画的に学習している児童の割合が少ない【グラフ⑨⑩】。今後、オンラインでの学習の機会が増えると予想されることもあり、自分の力で学習を進める力がさらに大切になってくる。オンライン学習の整備と共に、情報モラル学習の充実も求められる【グラフ⑪】。

**【全国学力・学習状況調査をもとにした重点取組事項】**

〈学校での授業改善〉 ①「坂本小スタンダード学習」(全学年で共通した系統的学習スタイル)の定着 ②自ら進んで学べる学習環境づくり、個の課題に応じた習熟度学習システムの更なる充実  
 ③語彙力を増やし、正しくわかりやすい文章を書く力の育成 ④文や図、グラフなどから必要な情報を読み解き、それらを整理し、理解し、発信する力の育成

〈家庭での学習環境改善〉 学習の習慣化（反復練習による学習内容の定着化 家庭学習の目安：学年×10分間 自主学習ノートや自主学習システムの活用 タブレットの持ち帰りによるオンライン学習）

〈学校・家庭・地域の改善〉 情報モラル学習の充実く個人情報保護・SNSの使い方等、ネット上でのトラブルを防ぐために 読書活動の推進 基本的生活習慣やルールの徹底